

地域活動と連携した訓練

地域活動の中で連携した防災活動を行えるよう、その内容や具体例を紹介します

1 ねらい

地域活動の一部に防災活動の要素を取り入れることにより、さまざまな人に対して、防災に触れる機会が提供できます。

また、防災単独で企画が困難な場合に、他の機会を捉えて活動することにより、計画段階での負担を軽減することができます。

2 必要人数

内容に応じて調整可能です。

3 必要資機材

内容に応じて調整します。

4 連携例

(1) 福祉活動との交流

- ・ ふれあい給食会の中で、防災に関する広報（震災講話などの防災講演や家具固定や住宅用火災警報器などの情報提供）など、防災に関する内容を入れて実施する。
- ・ 草むしりや溝掃除などで地域の方が集まる際に、防災訓練や広報（天ぷら火災など）を実施する。また、防災活動のみでは参加できない方に対して、防災に触れる機会を提供できる。

福祉活動

+

防災活動

(2) 地域行事との交流

- ・ 「夏祭り」や「とんど焼き」「餅つき」などの地域イベントの中で防災広報や防災訓練を実施する。
- ・ 地域の祭りで水消火器の的あてゲームのブースを作る。
- ・ とんど焼きの消火を小型動力ポンプによる消火やバケツリレーで行い、消防訓練を兼ねる、など

地域行事

+

防災活動

5 進め方

- (1) 防災活動を取り入れることができそうな地域活動や行事を話しあう。
- (2) その活動・行事の主催者を調べて、内容について相談調整する。
- (3) 状況にあった訓練プログラムの内容などについて、消防署にアドバイスを求める。
- (4) 活動を実施する。

ワンポイントアドバイス

- ☆ 実施する行事の内容や目的によっては、消防車両の派遣や職員の派遣など、職務としての支援ができない場合があります。消防署の支援が必要な場合には、内容などについて計画段階で相談するようにしてください。
- ☆ 地域でイベントを実施する際には、同じようなイベントが他の地区でも行われている可能性があります。消防音楽隊や地震体験車「ゆれるん」などの予約は早めにとるとよいでしょう。
- ☆ 他のイベントと一緒に実施する場合、助成金の取扱いには注意します。（協賛金や景品などは、防コミ助成金では認められていません。）

参加者の方へ

- ☆ 地域活動やイベントは季節に応じたものが実施されます。その季節に多い災害の話などを実施すれば、より一層家庭へ持ち帰っていただけることと思います。

【例】

春・山火事の話（バーベキュー）

夏～秋・風水害の話（梅雨や台風）、水の事故（夏休み）

冬・震災（1.17）、火災（空気の乾燥）